

# デザイン メディア領域

十分なコミュニケーション能力があり、いろいろな側面から、ビジュアルデザインを社会に活かすための研究あるいは制作を行いたいという強い意志を持っている人を求めています。

## 教員の紹介

Professor Introduction



谷口広樹  
教授

### 【専門分野】

グラフィックデザイン  
イラストレーション  
絵画

### 【担当科目】

デザイン表現特論I  
デザイン表現特論演習I  
デザイン学特別研究

**研究テーマ** ● 日本美術における装飾性

**メッセージ** ● 日本美術は世界を見渡しても際立って品格が高い。テクニカルな面、洒落なアイデア、遊び、精神性などなど、その試みには、深い味わいがある。明治より前の日本では美術という概念がなかった。その芸術性は、工芸という上に立ち、それに携わる当時のクリエイターたちは秀れた職人であって、類い稀なる技術と造形的なセンスを持ってもの造りに励んでいた。特にその自然主義的な装飾性は素晴らしいものがある。この日本人の美意識を、国内外の若者に自身の実践も含め伝えていきたいと考えています。



笠尾敦司  
准教授

### 【専門分野】

コミュニティー・アート  
コミュニケーション・デザイン  
ジャーナルティック・イメージ・クリエイション

### 【担当科目】

デザインメディア特論  
デザインメディア特論演習  
デザイン学特別研究

**研究テーマ** ● コミュニケーションアートとコミュニケーションデザイン

**メッセージ** ● 人と人をつなげるために必要なアートとデザインについて専門的かつ実践的な研究を行います。特に今後コミュニケーションに欠かせなくなるメディアを駆使したコミュニケーションアートのあり方、これからのネットコミュニケーションに不可欠と言われるパーソナルキャラクターのあるべき姿について、皆さんと一緒に新しいコミュニケーションを追求していきたいと思います。



甲賀正彦  
准教授

### 【専門分野】

イラストレーション  
グラフィックデザイン

### 【担当科目】

グラフィックデザイン特論演習

**研究テーマ** ● イラストレーション

**メッセージ** ● 独自の表現を確立するための2年間である。この2年間は大きい。10年分の価値はあるだろう。(有効に使えば)

## 本領域で育てる人材

*diploma policy*

ビジュアルデザインを社会の発展に活かすために必要な深い探究心と問題解決能力、そして高い志を持った人材を育成します。

## 教育内容

*curriculum policy*

グラフィックデザインを中心とした諸分野のデザインにおいて、社会との関係性という視点でカリキュラム編成をしています。

## デザインメディア領域授業科目一覧 (H23年度開講科目予定)

デザイン表現特論I	谷口広樹	グラフィックデザインというフィールドでの表現について考えていきます。デザインという性格の中に、表現ということがあるのかなのか？作家性というものがあるのかしないのか？などなど、皆さんと一緒に考察していきます。
デザインメディア特論	笠尾敦司	キャラクターデザイン、情報デザインやコミュニケーションアートについて広く題材を選定し、それについてディスカッション形式で講義を行います。テーマを与えるので、それに関して調査し自分の意見をまとめておく、そして毎回の講義で議論を進める学生を順番に選定し、その学生に講義の進行してもらいます。
デザイン表現特論演習I	谷口広樹	グラフィックデザインの大きな特性の一つにオフセット印刷というメディアを通すということがあります。オフセット印刷を経験するのはなかなか難しいので、ここでは版画を体験してもらいます。直接絵を描くのではなく、版下を作ることの難しさ、面白さ、また最後の最後まで自分の意思だけでは決定できない領域を扱うことの不自由さと、逆にその感覚をも表現の一部として捉えていくことでこれまでにない表現の幅をつかんでもらいたいと考えています。
デザインメディア特論演習	笠尾敦司	キャラクターデザイン、情報デザインやコミュニケーションアートについて、外部に発表可能な作品作りを目指します。
グラフィックデザイン特論演習	甲賀正彦	表現者が答えなければならない問題を5項目に分け、ディスカッションをします。作品制作を通して、一般論を超えた独自の答えを導き出す演習です。
デザイン学特別研究	谷口・笠尾 他	「修了制作」あるいは「修了研究」に結びつく制作・研究の指導をします。教員ごとに指導内容は異なります。

※所属する研究領域において開講されている科目です。